

あの日
生かされた
俺たちは熱い



宮城県女川町の復興にかける人々を通じて、人間の底力を描き出す渾身のドキュメンタリー

サンマとカキ

女川つながる人々



監督:乾弘明 ナレーション:中井貴一 撮影監督:長塚史規 音楽監督:引地康文 構成:釜澤安季子/乾弘明 編集:高原淳 題字:池端信宏 制作プロデューサー:尹美亜
アソシエイトプロデューサー:Ahmed N. Al-Khalifa/松島道昌 エグゼクティブプロデューサー:鈴木静雄/福岡慎二/木本考是 スーパーバイザー:和田誠一 プロデューサー:益田祐美子
協賛:株式会社リブラン/伊藤忠商事株式会社/三菱商事株式会社/丸紅株式会社/株式会社日進産業/大和リース株式会社仙台支店/大和ハウス工業株式会社 後援:宮城県/女川町/河北新報社
制作:花組 製作:日本カタルパートナーズ/平成プロジェクト 配給:東京テアトル ©2016 Japan-Qatar Partners (2015年12月現在)

onagawamovie.com

それでも、人は立ち上がる。

まるで戦後の焼け野原から復興した日本そのもののよう…



あまりにも多くを失った

マイナスからのスタート

カタールの援助が灯となった

復興をゆだねられたのは若者達

泣いた、怒った、そして笑った!

荒れ野に芽吹いた小さな草が蕾をつけ

今、花開こうとしている

女川は流されたんじゃない
海の見える景色を残したまま
新しい女川が誕生する!

女川復興の軌跡に迫る

宮城県女川町は牡鹿半島の付け根にある水産業の町。サンマの水揚げで有名だ。石巻線の終着駅で、古くから天然の良港として栄えた美しい港町だった。「あの日」までは…

この町の人々は、「あの日」2011年3月11日を何十年も何百年も語り継いでいくことになるだろう。住民の1割近くが犠牲となり、8割以上が住まいを失った。被災した全ての市町村の中でも、人口比では最も激烈な被害を蒙った町である。町の中心部は根こそぎ津波にのまれ、失うものは何もなくなった。

そんな絶望から、人はどうやって立ち上がるのだろうか…。

最初の希望は、中東の国カタールによってもたらされた。古くは漁業で栄えたカタールは、震災直後に基金を設置し津波対応を施した冷凍冷蔵施設「マスター」を建設。そして、小さな町だからできる独創的な発想と素早い行動、5年たった今でも寝る間を惜しんで復興にかける若きリーダーたち、その仲間が生み出す波及効果。人々の輪は町を飛び越え広がっていく。

女川は今、復興のトップランナーと呼ばれる。

震災前よりレベルアップした町づくり、そこに至る苦悩と喜びを見つめていく。



【東京】

5.7 土
より

ヒューマントラストシネマ有楽町 他 全国順次公開

▼ 近日公開

【大阪】 シネ・リーブル梅田

【仙台】 桜井薬局セントラルホール